

バストス週報

第七二八号
昭和卅九年
三月廿日
発行
DIRETOR
KOITI MORI
REDATOR
SHION ODA
RUA PRES.
VARGAS 188
C.P. 112
BASTOS
C. P
ANUAR
CR. \$
1.000,00

逸球 12

ビーバ相出

バストスを去って半歳たったかたためまに霜出老が先日姿をあらわした。急用でも出来たのかと尋ねたら、歯が痛むのでトラツタに来たのだという。カンピナスは眼医者、歯医者、居りぬと見えると冷やかすと。バストスに奥田というデンチスタが居て親戚だもんだから金を取らんから汽車賃払ろう。態々やってくるんだ。とすましていた。霜出とは、こういう愛らしい老人である。

またついでに墓地に穴を掘っておくかなとも言った。昨年カンピナスに移転する頃、市役所から、彼が墓地美化工事をやりとめた御礼に墓地のダツタを贈られたので、自分が死んだら、ここに安息するのだと云っていたが、愈々穴を掘る決心までしたか。

あんたはそれつつもりでも死んだらどこに埋められても同じだ。というといや、遺言してあるから必ずここへ埋葬してくれる。大層力んでいた。

ところが先日畑中家の末子アルマンドさんが事故で急逝し、墓地の場所を決定するため義兄のドトル農田が実地検分に行くとき、カッペラの近く、松本高信氏夫妻の墓の隣りが空いている。墓子に尋ねると、それは霜出が市役所から贈与されたダツタだが、誰かに譲ったらしい。詳細は市役所で尋ねて貰いたいとの事。ドトル市役所の係に訊くと意外なことが判明した。

去る日霜出が自分の埋葬されるダツタに穴を掘るんだといつたその土地を、移住地の元支配人畑中氏に差上げた。そのうすれば、招本副支配人と並んで墓地の入口に近く、鎮座します事になる。まちがいのないよう帳簿に記入してくれと、たのんで行ったというのであった。だからドトルの希望通り一等地が手に入ったのであった。

現在生きている人に、死んだらここに埋めたい。と、霜出は、畑中家には、そのことを一言も言っていない。畑中さんは、そのことをドトルから聞いてハラハラと落涙された。

ALFAIATARIA IMPERIAL

ひとはおしゃれをたのしむものである。丸山洋服店

マルヤマのテラノで一つシヤレてみるか



UAKA化粧品

胃腸と栄養 わかぜと

男性の魅力 わかホマード

純植物性

あなたの好きな香り

- ①
- ②
- ③

の内からお選び下さい

- △かみに栄養 △フケを防ぎ
- △洗えばサラリとおちる
- △少量で充分

だれにも好かれるわかホマード

各薬局でお求め下さい

Sapataria Bastos

靴は足のボイシノ頭のボイシは下火です。ハダシで歩く時代は来ないでしょう。

フツはハヤ川で

クツは早川で



「どうだ、この話、ええネタやろ」と本
 田(正)くん、鬼の首をとったよう顔で私に
 伝えてくれた。
 「それ見ろ、霜出エラさが今わかっただ
 ろ。あんなエライ奴を草分会ではホイコ
 ツトしたんじやないか。今、草分会では
 後悔しとるんだろ。入れといてやればよ
 かったのに。」
 「何、後悔なんかしとるものか。入会規
 定に当てはまらんから仕方ない。しか
 し霜出老は晩年になって光り出したな。
 先日草分会員が集った時、その話が出て
 万場一致で彼に感謝状を贈ることにしま
 った。」

「その話確もさいたよ。感謝状作って
 れとも云われてるが、貴下は移住地運
 営に楯をつきマンダインボーラの処分を
 受けたるため二年はかり移住地退植を余
 儀なくされ、草分会の入会は拒否され
 れど、貴下が移住地の振展に寄与したる
 功績の大なるを見るに及び、今や後悔の
 念禁じがたく、説状の代りに感謝状を贈
 りするものなり。」と書こうと思ってる
 んだがどうだろう。」
 「バカやな、後悔せんならんこと、何も
 ないかな。」
 「しかし霜出老も臍曲りだから草分会か
 ら説状も感謝状もやるといつてもいいぬ
 というかも知れんせ。ここで贈呈するん
 だ。」

「それはまだきまつてないし
 「それでは本年の入植祭に老を招待して
 舞台の上で、草分会員一同整列して贈呈
 式やるんだね。その位のことしてやれよ
 お説びのしるしに。」
 「あほやな。」
 「貴下の如き偉大な社会人はマレに見る
 存在でありまして、貴下を一枚加えます
 ならば草分会も名実共に堂々たる会とな
 るであります。ようが、いかにせん現格の
 運奉に及び、もう止めとくよ。俺がい
 い智慧貸そうというのに採用せんから。」

「思えば霜出老くらい、よきにつか恵し
 きたつり、大きな足跡をのこしていった
 バストス人も沢山は居ないであらう。」
 「移住地事務所の方針、小学校運営の見
 解、自治会問題、その他霜出老の考え方
 が急道であるのか、迂遠であるのか、よ
 くも種子があるものと、感心する位、ネタ
 を拾い出して来ては、取組みをつけた
 嫁の世話、喧嘩の仲裁、交渉、何をや
 らせても、引受けましたと胸を叩けば、
 金と銀との音がすると浪曲の文句のよう
 な男であった。あれでチンマキを頭にの
 せていたら立派なヤクザか渡世人といっ
 た一かど親分だったにちがいない。バジ
 ンが霜出老に一番感心した点は、追放に
 なって二年後、バストスへ戻りたいと相

Bar e Sorveteria Irmãos Yaguiura



サントスの鮮魚!
 いよいよ 味覚の秋
 やぎょうら
 イルモンズ
 サントスの鮮魚

美容体操のあとの
 ソルベツテ
 クルツシュ
 ガラナ
 婦人用のアマクチ
 くらびールはいかが

「設に来た時のことばであつた。
 「息子や娘のことを考えてやらぬといけ
 んようになつた。アリヤマンダインホ
 ラの息子だ娘だといわれては、嫁にやる
 にも嫁をとるにも、ちつと具合が悪がる
 いてや。」
 「強情我慢の壮年霜出も、子への愛情には
 まけたのである。インボーラ勲章をとり
 去るにはバストスへ戻る意外に手はない。
 一昨年の件を一寸書いたことがある
 が、いい芝居は何度も見るものだ。重複
 する所があれば筆者のモウロクのせい
 していただ。」
 「一度追放された所などに、死人でも戻る
 ものかというのが人情の常だのに、汚名
 をそそぐために戻るといふのも、骨のあ
 る考えだが、老のためには戻つてよかつ
 た。復帰してから老は数年後経済的に
 も余裕ができて二ロツテの地主になり、
 植林運動の先駆者として名をあげた。
 有名なる荒武者、霜出群の物語りは、ユウ
 に一編の小説を成し、移住地のうらな
 しには必ず顔を出す役者では三枚目だが
 幅の広い世渡りをしたものである。晩年
 の墓地美化運動は余りにも有名で、出来
 れば死んだら、あす二に葬つてやりたい。
 市役所からもらった場所は畑中さんに
 中あつても、彼一人位埋葬する場所があ
 るう。以つて瞑すべし。ウイバ霜出(未完)

アマゾン先生 6

妊婦は流産、子供は発熱

サンパウロ州立医大は卒業したものの
 兵役の義務を終えなければ医師の開業権
 は得られない。そこへ来て来て私敵
 性国家の生れである。日本病院をどび出
 したあと私も一時は途方に暮れてしまっ
 た。しかしありがたいことにはペドロア
 レット、エドムンドアルンジの両教授や
 私の知己友人たちが色々心配してくれた。
 兵役の義務は友人エール、ネエウ、君が奈
 走してワルガス大統領から紹介状をもら
 い兵役免除を申請してくれた。だが戦時
 中なので結局それは許されなかつた。私
 は基礎訓練所チロテグウで五年間も副所
 長の責務を買わされ毎日鉄カブトをかぶ
 る日がつづいた。しかしどうやら兵役も
 事なくすんだ。考えて見れば長い五年で
 あつた。渡伯以来宿願だつた医師の開業
 死状もこれ、いよいよ天下晴れてブラジ
 ルで仕事が出来るのである。
 と、ところが何といつても困つたのは金の
 ないことである。日本政府からの補助金
 が届くことが届くまいが貧窮移住者にはそ
 んなことはわからない。病気になるれば戦
 前にそうであつたように、同仁会の保健
 医細江先生を訪ねて来ては診療を乞うの
 であつた。すこしはかの薬品類は忽ち
 して底をついてしまつた。
 とくに困つたのは診療所のすぐ近くに
 ある藤田克己薬局の主人が死亡し、整理
 人から私あてに龐大な額の請求状がきた
 ことであつた。
 二三年前の開戦当初のことである。海
 岸地帯の日系人はことごとく奥地へ追放
 されることになり、貨車にのせられてサ
 ンパウロ市を発つて行つた。
 その日は凍るやうに寒い晩であつた。
 まつ暗な無蓋車につめこまれて、妊婦は
 流産し、老人や女子供は殆んどいつて
 よいくらい風邪を引いていた。モツカの
 停車場からは高熱と悪寒にガタガタ震え
 ている人たちがひっきりなしに苦痛を訴
 えてくる。そのいたましい同胞たちのす
 かたは私の肺腑をえぐつた。薬かないな
 どとはいつておれないのだ。エイ、金な
 んぞどうにもなる。私は藤田薬局へかけ
 こんだ。
 よし、金はオレが払うからとんとん薬
 を持つてきてくれ。
 私の出来るかぎりの手当てに同胞たち
 は泣いて感謝しながら奥地へ送られて行
 った。全くみじめであつた。行くさきぎ
 きで待ち受けているであろう彼らの苦難

御 礼

金一封也

御子息アルマンド様の御葬儀に際し香
 奠返しとして御贈下さいました。あ
 りがたく御礼申し上げます。
 三月十日

バストス 佛教婦人会

畑中仙次郎様

御 礼

金一封

御子息様御葬儀に際し謹而哀詠の辞申
 上げます。御追善の思召を以て前記金
 員御寄贈ありがとうございました。
 三月十日

バストス 南米本願寺

畑中仙次郎様

御 礼

金一封

故アルマンド様の御急
 逝に対し深悼申上げます。又金一封の
 御寄贈ありがとうございました。
 三月十一日

クロリア II 区 (会計)

畑中仙次郎様

御 礼

金一封也

御子息アルマンド様の御葬式に際し香
 奠返しとして御寄贈之段ありがとうございました。
 御礼申し上げます。
 三月十一日

バストス 商 工 会

畑中仙次郎様

御 礼

金一封也

故アルマンド様の急逝を深悼致しま
 す。尚追善の思召を以て当会へ御
 寄贈之段有難く拝受御礼申し上げます。
 三月十一日

バストス 日伯文化協会

畑中仙次郎様

死亡通知並に会葬御礼

故七男 アルマンド儀(28) 去る三月七日夜九時半頃、自動車
 を操縦し、イアクリ街道を通行中、事故のため急逝致しました。
 依って翌八日午后四時自宅出棺、バストスカトリック教会に於
 て告別彌撒を執行していただき、同五時バストス墓地に埋葬仕
 りました。

茲に生前御交誼を賜りました方々へ御礼申上げ、右の次第謹
 告致します。

事故の当夜多数知友の方々に於かれましては、適宜の處置をお
 採り下され、且つ御丁重なるお計らいをして頂きました事につ
 きましては唯々感激を以って御礼申上げののみでございませう。
 又、葬儀に際しましては御多忙中、御遠路の処御会葬下され且
 つ望外の御香奠、供花等を御寄賜わり、厚く御礼申上げます。
 生憎と不意の降雨有之、皆様に多大の御迷惑をおかけしたこと
 と存じます。

一々御挨拶に伺う可きですが取込み中につき御ゆるしを願ひ、
 取あえず紙上にて御礼申上げます。

又、甚だ失礼乍ら香奠返しの儀は畧し各団体
 へ軽少の寄付をさせていたたきます。

一九六四年三月九日

- | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|
| 父 | 畑 | 中 | 仙 | 次 | 郎 |
| 母 | 畑 | 中 | 忠 | 志 | 雄 |
| 兄 | 畑 | 中 | 栄 | | 子 |
| 妻 | 畑 | 中 | 瑞 | | 子 |
| 兄 | 畑 | 中 | 徳 | | 三 |
| 妻 | 畑 | 中 | 工 | | レ |
| 姉 | 竹 | 中 | 萬 | | 里 |
| 義兄 | 畑 | 中 | 千 | | 代 |
| 姉 | 農 | 田 | 千 | | 子 |
| 義兄 | 畑 | 中 | 和 | | 信 |
| 兄 | 畑 | 中 | 俊 | | 敦 |
| 妻 | 畑 | 中 | 子 | | 敦 |

の生活を思うと、ただ暗涙をのむばかりであった。

その時の請求が藤田さんの死により大きな鉄槌となって私の頭上へ落ちてきたのである。

しかしこれも大勢の友人たちが救ってくれた。川添清さんという会計士がみんなと協力して恥をさらさずすまさせてくれた。

診療代を払ってくれぬ人は次第に少なくなった。ひきかえに無料診療の人は増えてくる。だが前かう同仁会の巡回医として予防衛生の仕事をしていたので、いくら苦しくとも私には断ることはできない。またどんなことをしても一人でも多くの同胞を救ってやりたかった。

私はサンパウロまで出て来られぬ人たちのために近隣の町に小さな出張所を開いた。それも文句をいわれぬ様に軍服を着て通うのであった。

ここにもはじめは収入源であったが、しばらくすると無料診療所とかわってしまった。生活は苦しくなる一方だし薬も満足に買えぬ。思いあまって私はアルバレンが町の顔役、松本龍一君にたのんで煙を借り入れ、さつまいもなどを作って人に売った。また数人の友人と協力して養鯉組合を作り、養鯉をはじめぬるなどして生計費や薬代にかえた。幸いなことに養鯉の方はなかなかの成功だった。池は低地の捨ててあるところに作れば簡単だ。一メートル四方に五匹飼える。エサは毎週二回やるだけで一年に七五〇GMから一キロGMに生長する。私たちは八千から一万飼える池を四つほどもち、相当の収益をあけることができた。今日でも私は養鯉の智識についてはひけをとらぬつもりである。しかしこれとでもみんなの努力と研究の結果であった。苦しませぬの知恵が生んだ。ささやかな余得ではあった。

食べたのは胎盤

ともあれ、戦時中の非人たちの生活は悲惨そのものであった。

奥地から二人の子供をつれて出て来たある未亡人は診療すると肺エソであった。今日ならば抗生物質でやすやすと治ったものを、当時はスルル割一点はり、それさえも戦時で中中手に入らない。とうとう二人の子供をのこして死んでしまった。村人の情けで子供はどうやら奥地へ帰したものの宿泊代や薬代は私の肩にかかってくる。

またチフスと妊娠で夫人は死亡、子供は七才をかしらに四人いるところ、が主人は脳が悪くて完全に子供の世話が出来ない。下の二人を孤児院に入れ、上の子供二人と一緒に家に帰してやったが、お

御 礼
金二十五コント也

右は故アルマンド様の遺体収容につき御手伝をさせて頂いた謝礼と事で御薬儀御寄贈を受けました。御厚意を感謝いたします

三月十二日 ASSOCIAÇÃO CULTURAL
MOCIDADE BASTENSE

畑中仙次郎様

御 礼

金一封也

故アルマンドさんの御霊の上に天帝の御加護ゆたかならんことを祈り、当会への御寄贈に感謝いたします

GREMIO ESTUDANTIL
GINASIO SÃO JOSE

畑中仙次郎様

御 礼

金一封

御子息アルマンド様の急逝まことにお気の毒に存じます。又香奠返しの思召しで御寄贈ありがとうございました

三月十二日
バストス聖母婦人会

畑中仙次郎様

日本式 庭園

御用承ります

シロリア工区

若野様の新築屋敷内に、所要日数二十日余にて、立派な築山灌漑池などが完成いたしました

○百聞は一見に如かず
一度ごらんの上御高評を乞う

○只今、同区桑原様の庭園構築中
です

家の前に美しい庭園をしつらえることは決してせいたくなく好みではありません。長い人生の旅路を朝夕とこれ程感めてくれることせしうか？

造園師

庭

優

うらばなし

○アルマンド畑中さんのデザストレで
働いた人々

三月七日夜私は三日分の三新聞を抱えて
保ころび乍ら読んでいる内、いつのま
にか寐込んでしまつて町のさわぎを少し
も知らなかつた。その夜九時半頃イアク
リ街道六キロの地点でバストスへ帰途ア
ルマンドさん操縦のピルアが横倒しなつ
ているところへ、ツパンから帰途の奥田
ドートルが之れを発見、バストスの町へ
つたえたので大さわぎとなつた。土曜日
の十時は宵の口、忽ち五台六台と車が現
場へとぶ。警官立会でバストス病院へ送
られたのが十二時近く、面徹氏は畑中邸の
付連に着をして、不用意の闖入者の入門
をゆるさず、病院で看護婦さんが頭部の
ホータイをししている間に、バストス文化
青年クラブ、藤青、ライオンスの幹部ら
相談の結果、棺を贈ることとなり、ツパ
ンに急行して立派な棺を購入、病院で細
棺の手続きをした。

ところがアルマンドさんのシャツもズ
ホンも血まみれ、テルノに着かえさせね
ばならぬが、だれがそれをとりに行くか
否もつと大役がある。畑中家ではこの
凶事を知つては居られぬ、誰かこの計の
使者をつとめるか、文化協会長谷口氏も

バストス歌会報

三月八日羊鈴居に於て第百五十八回
月例哥会を催す。当夜の作品
一人一首左の如し

- 冤罪を雪ぐすべなく傷つきし 工藤勤一
- 人思ふ夜のカクテルにがし
- 厭がうせなむ言われつ高えは 森重扶美
- 迷途の場なき女は 宮武英雨
- 歎かいは忘れてあらむ陽紫花の 土井はやい
- とどなる露に朝かゆりして
- 夜寐に倒れし空屋の辺に佇ちて 梶田まよ
- 泣きみに聞き入る教会の鐘
- 陽の光返して渦巻く濁流に 森重羊鈴
- 浮草は孤独の象にもまるる
- 疲れたる身はいやす如くにも
- 吾子は金魚の水を替へ居る
- 年上の男の子と争う 女生徒ありて 矢野三丘
- 傾に醸し出す荒き空を掴み 織田糸子
- 死後のことしめしみ思ふ年となり
- 夜更けの舟に独り火酒くむ 石橋美津雄
- オリンピックには帰れの文常賜わし
- 長兄 今は 幽 興 冥にす
- 満場の視線を浴びつ証書掌に 加藤かおる
- 壇上に立つ吾子の 眸

セボラのたね

カンピーナス市ジナネス商会報
南大河州産(一九六四年採集)
品名バイアペルホルメ(ペラ種)
お取次ぎいたします
本年は種子不足につき御入用の
方は早目においで下さい

ルアオスフルドクルス
杉山さんの東
本林元武雄

御 礼

去る二月八日、故山田悦治様並に面川
賀久雄様の合同告別式を当寺で営みま
した節の費用をバストス産業組合に於
て御負担下さいました事を、厚く御礼
申上げます
三月十日

バストス産業組合御中
バストス 南米本願事

移転御挨拶

このたび私方一家、家事の都合により
ランシヤリア郊外に移転することになり
ました。長らく御世話になりましたこと
を厚く御礼申上げます。二十八年の長い
間御交際願いましたのに、何ら御報恩のこ
ともできませぬ。相済み儀と考えます
何卒此後も御厚誼賜わりますよう御願
い申上げます。
尚出祭に当り御餞別を賜わりました方
々に厚く御礼申上げます。
皆様御健康をお祈りして移転の御挨拶
申上げます。

一九六四年三月十日

長瀬 一市

家族一同

各位様

誌友の皆様にご報告

生長の家バストス誌友相愛会

前畧 最近わがバストス人の自動車事故相次いで起り、人々をして転た不安の念を催さしめます。これにつけても考えられますことは、人間の心が霊界に反映し、そこに具現した象が現実界に現われることで、これはひとり谷口雅春先生の御解説によるばかりでなく、欧米各国の心靈科学者達のひとしく証明するところでもあります。これを以って之れを見る時、バストス人の事故多発はバストス霊界が如何に混迷せるやの證查であると思考されるのであります。

此の点に思いを致しまして吾人は霊界浄化の祈りを捧げ、今後の事故を未然に防止致したいと考えるものであります。就きましては一人でも多くの人の力が加わることが必要でありますので、皆様に於かれましても、日夜神佛を祈られます時、下記の句を二回又は二十回、御祈り下さいますよう、失礼乍ら紙上にて御願ひ申上げる次第であります。

バストス霊界浄化の祈り

神の無限の愛我に流れ入り給いて、愛の靈光燦然として輝き給う。其の靈光愈々輝きを増して全宇宙を覆い全バストスを覆い給い、すべての人類並にバストス在住の皆様方の心に愛と平和の思を満たさしめ給うのである。

バストスの皆様に御願ひ

去る三月七日夜、自動車事故のため、急逝された畑中アルマンド様の慰霊のため、事故現場に於て、山田、面川、菅井、御六名様合同、慰霊祭を挙行いたします。誌友の皆様はもとより、誌友以外の一般の方達、一人でも多く御参加下さいますよう御案内申上げます。

○日時 来る三月廿一日(サバド)午後三時

生長の家会館前から自動車の便があります

午後三時出祭します

三月二十日(金)八時 廿一日(土)九時半

東宝 天然色 **その場所に女ありて**

愛を捨てて明を求めて生きる律子よ!

三月廿二日(日)九時半 廿三日(月)八時

松竹 超大作 **無宿人別帳**

豪華異色脱後と不気味な口ケ地。佐渡金山狸堀り。鉾山の描き出す型破り時代劇。大作

三月廿五日(水)廿六日(木) 両夜とも八時

日活 **さよならの季節**

三月廿七日(金)八時 廿八日(土)九時半

東宝 次郎社長社長と石松社員

追藤社長に最後礼、笑いとお色気ひきつけて、名物シリーズ登場す

三月二十九日(日)九時半 三十日(月)八時

東宝 **日本一の若大将**

スホーツなら何でもござれ。陸上、水上、...でも女には弱い。突拍子もない日本一の楽天家、底ぬけの空想家がわうユカイです

司葉子 原知佐子 森光子
室田明 柳川慶子 山崎努
水野久美 北あけみ 西村晃

三国連太郎 左幸子 津川雅彦
長門裕二 伴淳三郎 岡田マリア子

吉永小百合 ブラジル移民物語
淡田光雄

進藤英太郎 水木一良 久保菜穂子
中村賀津雄 佐伯良子 星美智子

加山雄三 北あり女 田中邦枝
星由理子 藤山洋子 有島一郎

彼岸会 三月廿五日 午後

報恩講 三月廿五日 晩から
三月廿六日 午後まで

本部長 藤井晋先生
主事 瀬辺樹先生
ウパン 長野諦乘先生

右三先生により勤修されます。皆様の御参詣をお待ち申上げます。

バストス南米本願寺

賣シヤカラ

面積 四アルケル半

ホンカン樹一千本 その他果樹あります

養雞などに適した土地です

希望の方は御来談下さい

有馬重

(小沢さんの向い側です)

副の前山さんも共に旅行中。太郎田、山中、本田その他の諸氏でもかく訪問する。こゝにしては、所へ極原老が来たので、極原氏を正使として、しかし余りに突然の出来ごとなので、畑中老御夫妻にシヨック与えるだろう。イリネウ先生に万一の時は来てくれる様手配までして、いよいよ訪問。谷口丈人と崎田スルマさん、西きよ子さんなどの婦人達は一足先きに、ひかく驚ろかさないう真相を告げることは中々むずかしいものである。使者たちは身をも以って味ったそうである。棺が病院から運ばこまれた時、そして蓋をとって対面された時、数時間前元気で車を使って出て行った我が児の姿は、てた姿を見て、畑中さんは手をさしのべて遺体の手といわず肩といわず、やさしく愛撫し、静かに実に静かに落涙された。そうである。側により添って十字を切りながら唇をかすかに振わす老夫人。同室の男女とも思わす自を重れ、あちこちですすり泣きの声かした。さすが御二人とも取乱した様子は、みじんもなかつたが、心の中いかにあかりが慟哭の声をあさえて居られたであろう。諸行無常という言葉がある。生きていゝ以上、血縁者との死別は避けがたい。悟りきっているようでも、その場にならぬ動揺しない人はないであらう。(つづく)